

日田市が目指すべき組織・職員像

地方分権の進展や、少子・高齢化及び過疎化の急速な進展などにより、自治体に求められる行政ニーズが多様化、複雑化する中において、地方創生の実現に向けた施策の着実な進捗を図る上で、自治体運営を担う職員には市民感覚・市民目線に立って課題を発見し解決する政策形成能力や高度な業務遂行能力とともに、高い倫理観と使命感が求められています。

1. 目指すべき組織像

組織目標に向かって、職員が生き生きと活躍できる職場

人を育て、人を活かす職場

- ・ 職場の目標・課題を明確にし、課題や情報を共有する職場
- ・ 職員全員が協働する職場
- ・ 自由に意見や提案ができる職場
- ・ 互いに高め合い、向上する職場

2. 目指すべき職員像

自ら考え行動する、意欲あふれる職員

市民の視点で行動できる職員

- ・ 市民満足度を高める接遇や業務遂行を行う
- ・ 市民のニーズを的確につかみ、政策に反映させる
- ・ 地域とのかかわりを持ち、市民と地域の視点で行動する
- ・ 自らも一市民として、模範となるような行動をとる

日田市を愛し、日田市の未来を考える職員

- ・ 日田市職員としての責任と情熱を持つ
- ・ 日田市において「行政のプロ」の役割を担い、行政事務に精通する
- ・ 日田市の将来を見据えた政策を立案する
- ・ 自らが日田市の経営者としての経営感覚意識を持つ
- ・ 「日田市」という組織のチームワークを大切にする

自らを高めていくことのできる職員

- ・ 新たな課題に対しても積極的にチャレンジする
- ・ 常に自己成長に努める
- ・ 仕事を通じ、自らの人生を充実させていく